

第59回

大原 孫三郎 総一郎 記念講演会

て
る
お
か
ぎ
と
う

暉峻義等の精神を

現代に生かす

暉峻義等の思いと実践

公益財団法人労働科学研究所
常務理事・所長

酒井一博氏

大原孫三郎は明治35年、「広く公衆の知徳を啓発し社会の公益を増進する」ため「倉敷日曜講演」を創設しました。有隣会はその遺志を引き継ぎ、毎年7月末、「大原孫三郎・総一郎記念講演会」を開催しております。劣悪な労働環境の改革を目指した開明的経営者としても知られている大原孫三郎は、その研究を大正期の日本における「労働科学」の創始者でありパイオニアである暉峻義等に託しました。二人は固いきずなで結ばれた盟友で、この盟友関係が、日本の職場の労働環境に光明をもたらしました。

本年講師としてお迎えする酒井一博氏は、暉峻の遺志を今に伝える労働科学の第一人者で、氏が読み解く孫三郎と暉峻の足跡は、日本の社会の在り方を考えるうえでの新しい指針となることと確信します。

この機会に、お練り合わせご来聴くださいますようお願いいたします。

2014年

7/29 火

PM6:30~8:00

倉敷公民館・大ホール

倉敷市本町 聴講無料 ご来聴を歓迎します
(駐車場が少ないため、自家用車でのご来場はご遠慮下さい。)

酒井一博氏

【プロフィール】公益財団法人労働科学研究所所属。常務理事・所長。博士(医学)。1973年3月、早稲田大学大学院理工学研究科博士課程修了。1973年4月労働科学研究所入所、労働生理心理学研究部研究員。1986年産業保健研究所(フィンランド)へ留学。1997年副所長、1999年常務理事・所長(2001年退任)、2007年常務理事・所長、現在に至る。

主催 | 一般財団法人 有隣会

お問い合わせ / 大原美術館 (TEL.086-422-0005)
有隣会 (TEL.086-434-6277)
<http://yurinkai-kr.or.jp/>